

教科	科目	学年	単位数
国 語	国語演習	3 年（人文・社会系）	2
使用教科書		副教材	
なし		未定	

1. 学習目標

基礎・基本の徹底を目的とし、様々な大学入試問題に対応できる力を身に付けることを目標に、演習により実践力を養う。単なる問題演習に留まらず、様々な文章に触れることで興味・関心を高め、大学進学後にも生かせる読解力と表現力を身に付ける。

2. 評価の観点と方法

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。定期試験、授業における小テスト、提出物などを総合的に評価する。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。定期試験、授業における小テスト、提出物などを総合的に評価する。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。授業態度、課題への取り組み状況、提出物などを総合的に評価する。

定期テストの結果に、小テスト・提出物などを加味する。

3. 学習内容

現代文・古典ともに、実状に応じたレベルの記述問題を中心に扱い、副教材の問題演習、及び読解・解説を行う。副教材は年度初めに指定する。

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

演習の授業では、通常の授業で身に付けた力や知識をいかに運用するかを学ぶ。したがって、定期テストには授業で触れた教材の他、関連する実力問題を含む。